

「内在一ひとつの生」ノート

1.ひとつの超越論的場はどう定義されるか

(ひとつの)世界を構成している、その構成の根拠はどういうものなのか。

→「経験ではない」、意識として提示される(★現象学等によって?)。

しかし根拠というものを前提となっている与件＝意識によって定義するのは奇妙かもしれない。(★この「奇妙」さがうまく飲み込めない)

→主体と客体から世界を構成する考え方をすべてをしりぞけて、それを超越論的经验論としよう。

★主体でも客体でもないものが世界を構成する＝超越論的经验論とすれば、その構成要素はどんなものになるのか?という流れになるだろうか。

→(★1)パラのここから、超越論的经验論がどのように描写されるか?という流れ?

その構成要素は(ヒュームのな?)感覚のエレメントではなく、ある種の移行一持続を表現するグラフ＝直接的な純粹意識の流れによって定義すべきか?

2.意識と超越論的場の関係

超越論的場→原因

意識→その結果

なにがひとつの世界を根拠づけるのか?(超越論的場→原因はなにか)と問うときに、根拠づけられるもの(意識→結果)が根拠のその由来を明かすことはありえない。

★「超越するもの」って誰由来の、どういう役割のタームですかね。。?

これ移行何度か登場しますがよくわかりません。。

次のパラグラフではこの「超越するもの」との対比されるかたちで「内在」の概念が提示される。

3.超越論的場を定義する内在平面はなにによって定義されるか?

1-2で、超越論的場は「超越するもの」ではないことが示された。

3では、この超越論的場を積極的に定義しうる「内在」の概念が提示される。

(辞書)内在→「哲学で、超越に対し、現象がみずからの内にその根拠・原因をもっていること。

神が世界の内において働く原因である(スピノザ)、経験可能の範囲にある(カント)、

事物は意識・自我の内にある(主観的観念論)などのさまざまな意味に用いられる。」

(goo辞書「内在」<http://dictionary.goo.ne.jp/leaf/jn2/162401/m0u/>)

(memo)この現象が自らのうちに根拠・原因をもつ→自己原因の概念のことを改めて考えてみたい。

(memo)「内在」と「内在平面」の違いについて、「内在」自体は根拠・原因、「内在平面」はもうすこしオブジェクトよりというか

ものが生起していくネットワークのようなものをイメージして読んでみる。

4.哲学の問題系から実践への転換

このパラグラフではじめて内在(純粹な内在)を積極的に定義するものとして、「ひとつの生」が提示される。

それによって、ここではじめて1-3パラグラフで描かれるような純粹な哲学の問題系と、わたしたちの実践とが接合されていると感じる。

また同様の理路を通る中でフヒテ、メース・ド・ピランはそれぞれの仕事の中で、ひとつの生を発見したのではないかとされる。

参考サイト

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/~irie/kougi/tokusyuu/2007WS/2007ws06%20Fichte6.html>

(§6 フヒテの知識学 複数の自我の関係—大阪大学大学院文学研究科HP)

5.ひとつの生の現実化

内在とは何か?

→ひとつの生である

ディケンズは不定冠詞一潜在性を理解しつつ、みごとにこのテーマを表現した。

個人の生、主体:客体、個体、善悪→ひとつの生、出来事

(memo)このパラグラフでは、ひとつの生が顕現する際に、特異的な生一減衰した生という支配的な項を認めているだろうか?

(ネットワークシステムのイメージより、ツリートポロジーのイメージ)

前景化しているのは出来事だ、という話をしたいのだとは思うけど、

(memo)たんなる感想:「他の者とは混同されないが、もはや名を持たない」ものの区別が名でなされるのではなく、

特異性一此性でなされる、というか名が後からやってくるというか、そういう感じ。。

6.ひとつの生の性質

ひとつの生の性質

・偏在→ひとつの生は前のパラグラフの例では尽くされない。(★パラグラフ2-3行の「生きる主体が横切る」、「生きられた客体によって測られる」という表現が気になる。)

・引きさらい

・発生せず、継起しない、未到→★個別化しないという意味でよい?

・出来事が到来した空白の時間の巨大さを提示

・出来事と特異性を構成要素とする(一般的生と共存しながら厳密に区別される)

・非決定性をもたない(★このあたりの話は前回共通概念の回でも課題(?)になった”すべては必然”というのとも関わっていきそう。)

・締めにもう一度、超越が内在の産物であると繰り返される

★このパラグラフでドゥルーズはひとつの生一潜在的なものとはなんなのかという問題に踏み込んでいるように思える。